



今月のトピック

10月は「里親月間」です



里親ってなあに？

日本全国で家族と暮らすことが難しく、社会が代わって育てる必要のある子どもの数は約45,000人いると言われており、熊本県には約630人います。そんな子どもたちを一定期間自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情をもって健やかに育ててくれる方を「里親」と言います。

里親のいろいろなカタチ

養育里親

さまざまな事情で家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭で養育する里親

専門里親

養育里親のうち、虐待・非行・障がいなどの理由で専門的な援助を必要とする子どもを養育する里親

養子縁組里親

養子縁組によって、子どもを養育することを希望する里親

親族里親

実親が死亡や行方不明などで養育ができない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親

里親に関する
相談
お問い合わせは

- 里親支援センター 優里の会 ☎0965-62-8998
- 八代児童相談所 ☎0965-32-4426
- 氷川町子ども家庭センター ☎0965-62-3456



町民文芸

投稿先 〒869-4814 氷川町島地642番地 企画財政課宛（毎月5日必着）

短歌

奥山の秋思の果てや有為の空
ひとすじ流る銀色の雲

北野津 井田 道寛

友来たる話上手で明るくて
笑って帰る涙ふきふき

西野津 古崎 スエノ

電線に並ぶカラスの音符の如し
浮ぶ曲のカラ教室

西野津 古崎 栄子

盛夏の朝ハイビスカスが一度に
四つ花咲かせ空気がえる

西上宮 廣瀬 小亀

ササの葉サラサラ竹の手造り皿たのし
ごちそうとりどり舌づつみ
七夕ゆうべ晩さん会

西上宮 広松 真実子

俳句

向日葵や胸に秘めたる黄金比

北野津 井田 道寛

日傘さす見知らぬ人で行きずりて

西野津 古崎 スエノ

夕庭に匂ふカレーの秋の夕

西野津 古崎 栄子

地蜂が地面の穴から盛夏の空へ

西上宮 廣瀬 小亀

梅雨明けや朝日おしい二階窓

西上宮 広松 真実子

暑気払い煮つめて突いたトコロテン
西上宮 山下 環

i モード事件（蔵出し）

法道寺 本田 花風

私と榎の出会いはい四十年前の水俣にさかのぼる。当時水俣の海辺はコバルト色で覆われ、水俣闘争の名残を残していました。海辺の粗末な住まいに写真家ユージン・スミスが住み水俣病の歴史を撮り続けていました。仕事の都合で彼の家を訪れる際、言葉に不安を抱きながら出向くと、彼の奥さん美緒子さんが「今日は」と挨拶、安堵した記憶が甦る。

その水俣に、榎はキャリア候補トップの修習生として一年の現場実習のため赴任してきた。技術部門に配属、ポジションは特にありませんでしたが、現場経験を本社にリポートするのが仕事だった。私は囲碁を多少指導、職場の皆とはトランプの二八に興じ、シャープな彼はすぐ脅威の存在になった。一人住まい榎を、社宅に招き家内の手料理を出すと家庭料理が懐かしいのか喜んでくれた。職場を共にするのは僅か一年、のち九州に数年再赴任のとき、数度顔を合わせたが、すでにこの時期にして若き榎は企業を背負って立つ存在になっていたのである。

紙芝居をとした
高齢者の生きがいづくり

現在、氷川町では紙芝居愛好会として7人が活動しています。特別養護老人ホームの皆さんと一緒に色鉛筆で色塗りをし、出来上がった紙芝居は、各地区のいきいきサロンなどで上演されています。参加した皆さんにとっても好評で喜ばれています。7月27日に開催された第48回八代地区人権同和教育・人権啓発研究会では「人権のまちづくり」をテーマとした分科会で「紙芝居をとした高齢者の生きがいづくり」と題し、宮崎さ

んと松村さんが活動内容を報告しました。ボランティアとしての活動ですが、分科会のテーマに沿った素晴らしい発表でした。お二人ともこの活動を通して、「たくさん的高齢者の方々と顔見知りになることができ、そのことが一番の成果です」と話していました。住民の皆さんが周りの人となりがあっていくことが、人権のまちづくりの根本であることを教えられた気がします。



人権が尊重され、
生きがいを感じられるあたたかい町

人権啓発コーナー

問 生涯学習課 ☎0965-52-5860

毎月11日は人権を確かめあう日です

人権に関する動画を放映します。
皆さんの参加をお待ちしています。

「子どもの人権と児童虐待」

■ 日時 10月11日 金 13時30分
■ 場所 氷川町文化センター ロビー

八火図書館だより

☎0965-62-3489

秋の夜長に虫の音が心地よく、ようやく読書を満喫できる季節がやってきました！これから過ごしやすくなる秋、お気に入りの1冊を見つけて秋の夜長を楽しんでみてはいかがでしょうか？

新着図書紹介

一般書

東京ハイダウェイ / 古内 一絵
六月のぶりぶりぎっちょ / 万城目 学
トヨタの子 / 吉川 英梨
やっここっかな / わたなべ ぽん

児童書

いつもとちがう水よう日 / 丸山 陽子
まよなかのかいじゅう / 阿部 結
5分怪談 / ナナフシギ
国語の授業では教わらない 数え方辞典 / 飯田 朝子

文学散歩参加者募集！～夏目漱石「草枕」を巡って～

夏目漱石は明治30年の暮れから小天温泉で年を越しました。「草枕」にはその旅行での体験が素材として随所に生かされています。今年度の文学散歩では作品に関わる場所や草枕交流館、前田家別邸跡などを見学します。

■ 日時 11月15日 金 ■ 行先 熊本市・玉名小天方面
■ 参加費 3,000円程度（保険・入館料・交通費・昼食代など）
■ 募集定員 20人（先着順）
■ 申込み 八火図書館と竜北歴史資料館で10月15日☎から11月5日☎まで受付



バリ山行

松永K三蔵

題名のバリとは、バリエーションルートと呼ばれる通常の登山道ではない道に行くこと。サラリーマン小説と山小説が見事に融合した第171回芥川賞受賞作品！